

# 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進民間会議の設立

議題 1 - ①

## 【経緯・スケジュール】

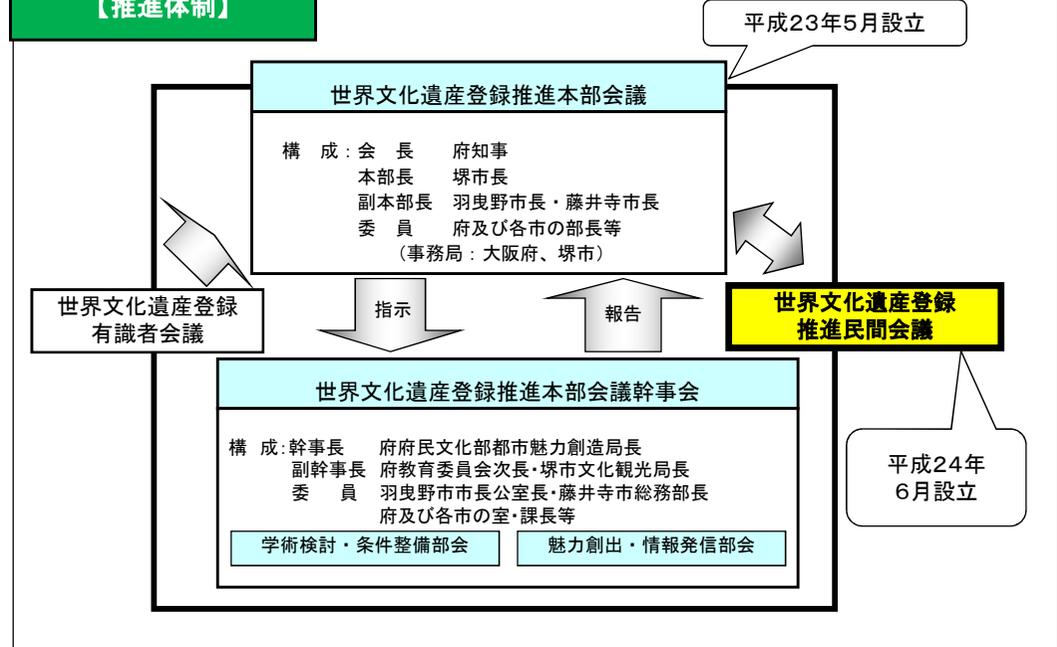
- H19年9月 府・堺市・羽曳野市・藤井寺市の4者で文化庁へ提案(全国で32件の提案)
- H22年6月 文化審議会世界文化遺産特別委員会で世界遺産暫定一覧表への記載了承
- H22年11月 ユネスコ暫定一覧表に記載(現時点での日本の暫定登録件数12件)
- H23年5月 知事、地元3市長からなる百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議を設置

登録まで最短となる平成27年度の登録実現をめざして4者が一体となって取り組むことを確認

⇒ 国内の候補に勝ち抜く  
⇒ 世界の候補に勝ち抜く

最短スケジュール	H23	第1ステージ ◎推薦書の準備(資産の再精査、緩衝地帯の設定等条件整備に着手) ◎ターゲットに沿った情報発信
	H24	第2ステージ ◎推薦書の作成(これまでの調査検討、専門家の意見を反映) ◎府内外への情報発信強化、都市魅力創出に向けた資産の活用検討
	H25	推薦書(案)の国への提出 暫定リストから毎年1件国がユネスコに推薦
	H26	第3ステージ ◎推薦書・現地視察、イコモス審査への対応 ◎プロモーション活動の強化
	H27	ユネスコで審査、登録の可否決定

## 【推進体制】



## 【民間会議について】

- 【根拠】 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議規約第10条  
 関係地方公共団体と民間団体等が連携して古墳群の世界文化遺産登録の取組みを推進していくための協議会を本部会議に置くことができる。  
 協議会の構成及び運営に必要な事項は、本部長が別に定める。
- 【目的】  
 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の実現をめざし、行政だけでなく民間団体等も連携して、機運醸成のための取組みを進め、歴史・文化都市としての大阪・関西の魅力を発信するとともに、資産を活かした地域の魅力創出や活性化について検討する。
- 【構成】 経済団体、観光団体、交通関係、有識者等 (別紙委員 17名)により構成  
 委員長: 1名 副委員長: 1名
- 【役割】 推進本部会議の方針・取組内容の団体内への浸透、理解の促進  
 ・推進本部会議の方針に基づき、各団体で機運醸成の取組みを展開  
 ・民間独自の取組みを検討するとともに、独立した民間の応援組織の設立に向けて調整  
 ・機運醸成に向けた具体的なプランや構想のとりまとめ、スポンサーの仕組みの検討  
 ・関西広域の機運醸成